

# チョコレートへの支出

- 家計調査(二人以上の世帯)結果より -

2月14日はバレンタインデーです。日本では昭和33年に東京都内の百貨店が「バレンタイン・セール」と称したキャンペーンをきっかけに、この日に女性が男性へチョコレートを贈る習慣が徐々に広まったと言われています。最近では女性が自分用に購入することもあります。そこで、今月はチョコレートへの支出についてみてみましょう。

## 年間支出の約4分の1が2月に集中

二人以上の世帯について、平成17年7月から18年6月までのチョコレートの支出金額を月別にみると、やはり18年2月が1,058円と最も多くなっています。18年2月に次いで多いのは17年12月で、1年を通してみると冬場に多く購入されています(図1)。

## チョコレートは14日に最も多く購入

次に、平成18年2月のチョコレートの日別支出金額をみると、14日が近づくにつれ増え、バレンタインデー当日に最も多くなり、翌15日以降は月の前半に比べ大幅に少なくなっています。

また、2月1か月間の合計額に対する累積金額割合をみると、14日までで85%となっています(図2)。

## 若い女性の消費が多いチョコレート

最後に、単身世帯における男女・年齢階級別の結果をみてみます。男性では各年齢階級とも年間1,500円前後の支出があります。一方、女性は60歳以上で2,327円、35~59歳で3,275円、34歳以下で5,055円と若年層の購入が多いことが分かります。また、いずれの年齢階級でも、女性の方が男性を上回っています(図3)。

図1 チョコレートの月別支出金額  
- 平成17年7月~18年6月

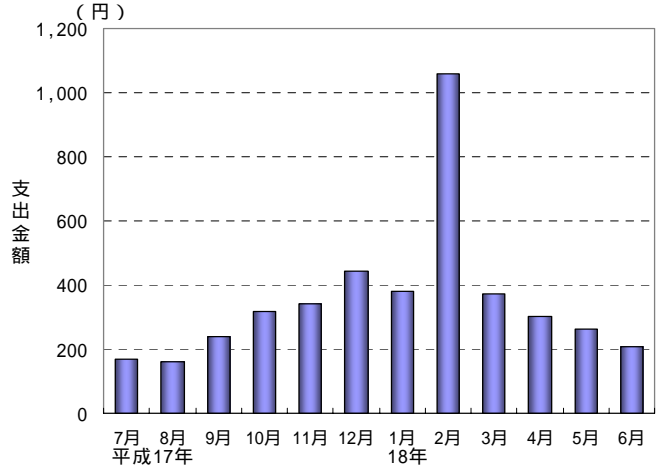


図2 チョコレートの日別支出金額と2月合計に対する累積金額の割合 - 平成18年2月

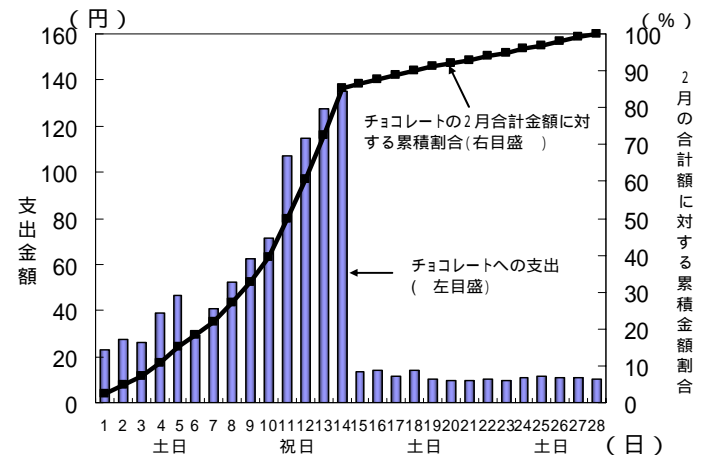


図3 単身世帯(男女・年齢階級別)のチョコレートへの支出 - 平成17年

